（様式 17）

研究番号	第 26－58

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

［研究課題名］ 重症心身障害児・者施設における看護・支援業務に関する後方視的調査

［研究機関名］ 聖隷三方原病院

［研究機関の長］ 山本貴道

［研究責任者］大曲正樹（リハビリテーション部 理学療法士）

［研究の概要］

■ 目的・方法

研究期間：2026年10月19日～2027年3月31日

目的：看護師と生活支援員の介入時間や介入回数と重症度、体重、人工呼吸器使用の有無との関係を整理し、施設内における看護・支援業務負荷の特徴を明らかにすることを目的とします。

方法：カルテや既存資料からの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2025年4月1日から2026年3月31日までに、聖隷おおぞら療育センターに入所していた利用者さんを対象とします。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：使用しません。

情報：年齢、性別、身長、体重、病棟、人工呼吸器等の医療的ケアの内容、重症度スコア、看護師・支援員介入時間および介入内容等

［問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先］

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター
大曲正樹、リハビリテーション部
電話 053-436-1251　 FAX 053-438-2971